



## 帯西伝承の日

16日(土)は、帯西伝承の日があり、餅つきや豚汁が振舞われ、学校も子供たちやPTA、子供会、地域の方々で大賑わいでした。当日は生憎の空模様で、伝承遊びをすることができませんでしたが、体育館では自主的な子供たちによる読み聞かせ等があり、退屈する様子はありませんでした。餅つきは、青少協と帯西応援隊の方々にお世話いただき、子供たちも列をなし、慣れない手つきで懸命にっていました。また、餅丸めは、子供会の方々にアドバイスをいただきながら、丸めることができました。子供たちも自分で丸めた餅を自分で食べることができ「つきたてのお餅は美味しい!」と口にしながら頬張っている姿がありました。一方豚汁は、社協と帯西食生活改善推進委員の皆さんを中心に、大鍋で具たくさんの豚汁が出来上がり、とても美味で体が温まりました。



地方都市は、少子高齢化や人口減少の加速に伴って地域コミュニティの維持が困難になっているなど、課題が指摘されています。これからの時代を生き抜くために、子供たちには学校だけで得られない知識や経験、能力を地域の方に支えられながら身に付けることが必要になってきます。今回も帯西の各種団体同士が協働する姿があり、主体的に地域社会をつくろうとする意識を感じることができました。そういう姿を子供たちは地域での学びとして記憶しながら、成長していくと思います。関係諸団体の皆さん、前日準備から当日の運営まで本当にありがとうございました。

## 作曲コンクール特選おめでとう

16日(土)熊本県作曲コンクールの表彰式が平成音楽大学で行われました。「自由作曲」において、本校から2年生の土田佳苗さんの作品「ほしのこもりうた」が特選「平成音楽大学賞」を受賞しました。これは学年ごとの審査ではなく、1年生から6年生までの中から最も優れた作品として選ばれています。土田さんの作品は、右の楽譜にあるように高い旋律で美しく響き、聴くものに優しい子守唄となって届きます。土田さんは、「私はきれいな曲が作りたくて、この『ほしのこもり歌』を考えました。星のキラキラしたイメージを高い音の優しいメロディーで表しています。(平成音大の授賞式で演奏した際は)ばんそうの形を少しずつ変えて、夜の時間がどんどんすぎていくのを表しました。賞をもらえてびっくりしました。とてもうれしかったです。」と受賞の喜びを述べています。同じく2年生の土田快晴さんも入選を果たし、きょうだいダブル受賞となりました。おめでとうございます。

